

空のしおり

春号

No.54

2025 年(令和 7 年)

4 月 28 日

Narita Aviation Weather Information Magazine

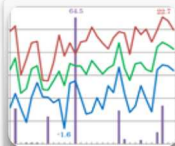


発行
成田航空地方気象台



Topics

- ・ 3月8日～9日の南岸低気圧に伴う降雪



Explanation

- ・ 成田空港の気候 (2024～2025冬)



さくらの丘



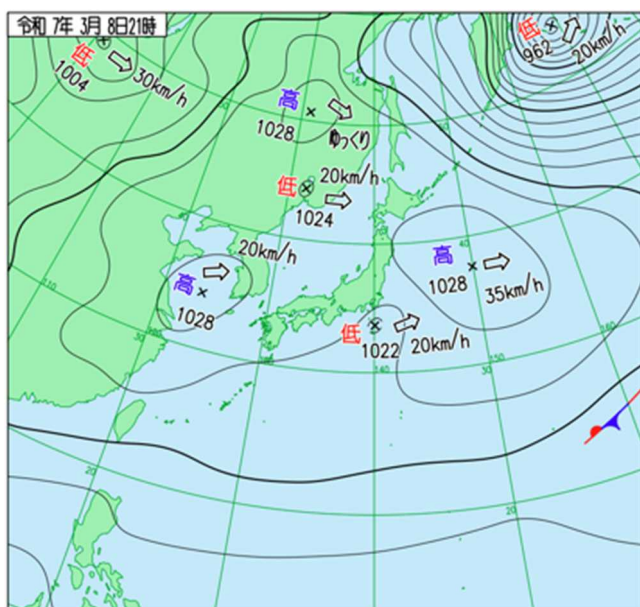
3月8日～9日の南岸低気圧に伴う降雪

2025年3月8日に低気圧が関東の南岸を東北東進し、9日にかけて関東の東海上へ進みました。このため、8日から9日にかけて、関東地方の平野部でも降雪となるところがありました。成田空港では8日20時頃に雨からみぞれに変わり、21時頃には雪となりました。最深積雪は1cmでした。

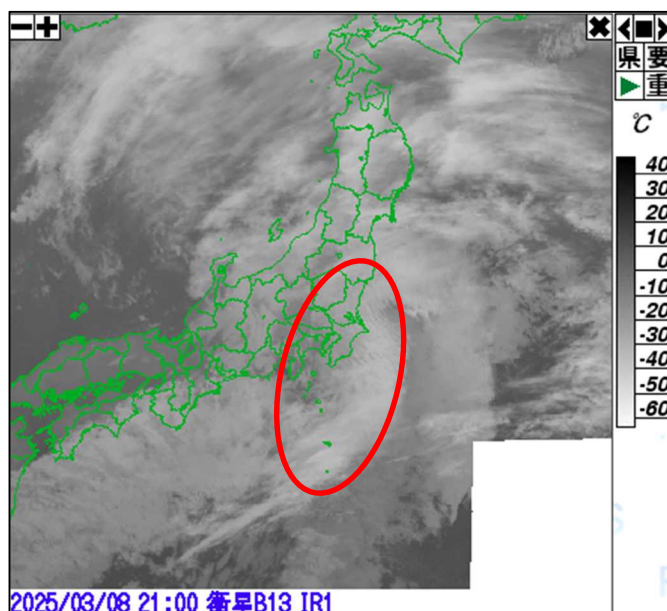
1. 概況

第1図は3月8日21時（日本時間、以下同じ）の地上天気図です。低気圧が関東の南岸を東北東進しています。関東地方の太平洋側では低気圧北側の降水域がかかり、気温が低下すれば降雪となりやすいパターンの気圧配置となっています。

第2図に8日21時の衛星赤外画像（B13：波長 $10.4\mu\text{m}$ 帯の赤外バンド）を示します。衛星赤外画像は、昼夜の別なく温度の低いところを明るく、温度の高いところを暗く表現します。このため、雲頂高度の高い雲（上層雲や発達した積乱雲）は温度が低いため白く明るく見えます。第2図では、関東の南岸を進む低気圧に伴う雲域が関東地方を覆っているのが、わかります（図中赤丸付近）。

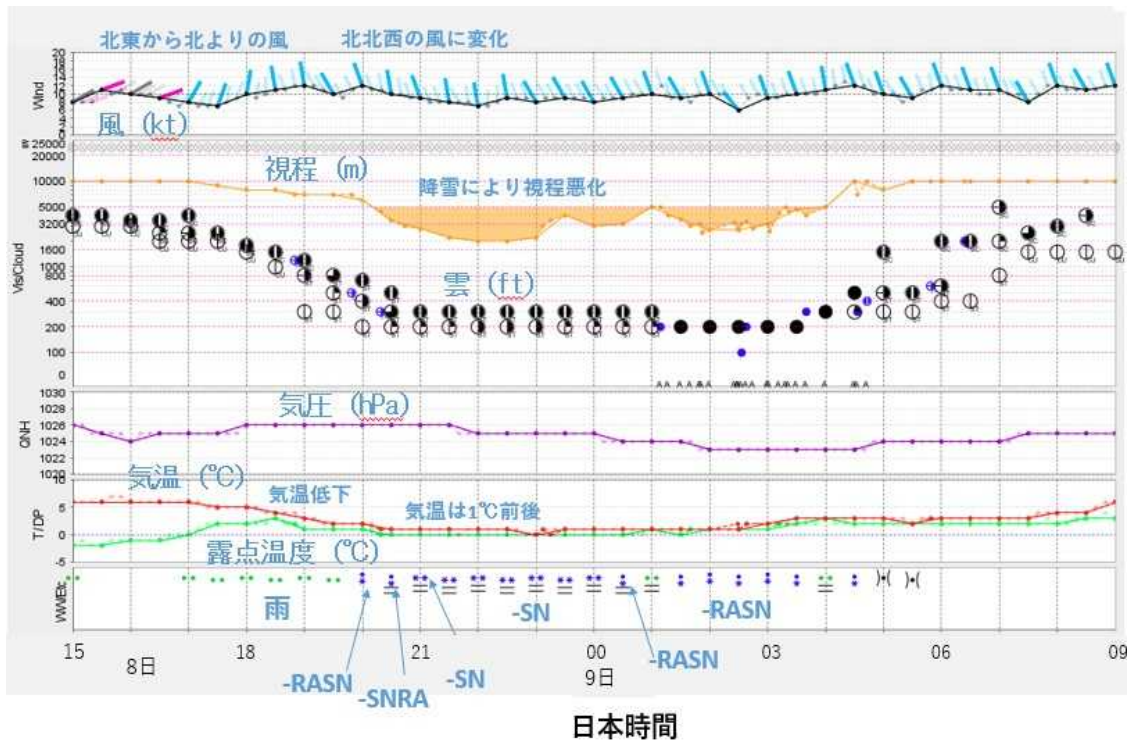


第1図 地上天気図（速報）（8日21時）



第2図 衛星赤外画像（B13）（8日21時）

2. 成田空港での気象状況



第3図 3月8日15時～9日9時 航空気象観測時系列図（定時報、特別報）

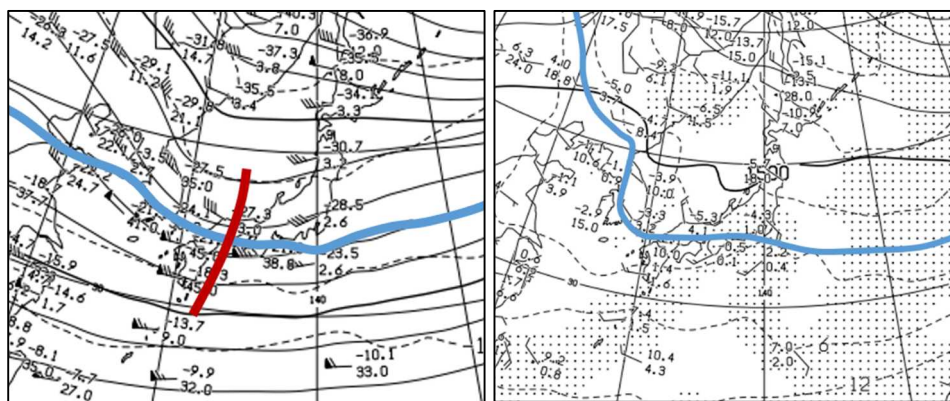
第3図に、3月8日15時から9日9時までの成田空港における航空気象観測時系列図（定時報、特別報）を示します。これによると、成田空港では8日17時前から降水が始まりました。気温は5℃位から次第に低下しましたが、20時前までは雨で推移しています。風向の変化にも着目すると最初は北東から北よりの風で経過していましたが、20時前位からは北北西風に変化しており、気温は更に低下し20時には2℃となったため、みぞれとなりました。その後も北北西風が吹く中、気温は低下し、1℃となった21時頃からは雪主体となっています。その後は低気圧が北上したこともあり、地上気温は2℃から3℃とやや上昇したため再びみぞれが主体となりました。9日5時前には降水は終了しています。成田航空地方気象台では8日22時から9日1時にかけて積雪臨時観測を実施しました。8日22時は積雪0cm、23時は積雪1cm、9日00時は積雪1cm、1時は再びみぞれや雨が主体となったため、積雪0cmでした。参考として第4図に8日22時55分頃の飛行場内の積雪状況がわかる画像を示します。これを見ると路面がうっすらと白くなっているのが、わかります。



第4図 3月8日22時55分 RWY16L 付近の積雪状況

3. 高層天気図

第5図は、8日21時の高層天気図（左：500hPa、右：850hPa）です。これによると、500hPa（約17,000ft）では西日本に寒気を伴った（上空の）気圧の谷があり、関東付近上空でも -24°C 以下の寒気が南下しています。また下層の850hPa（約5,000ft）には、 -3°C 以下の寒気が流れ込んでいます。850hPaの気温 -3°C は南岸低気圧の通過時に関東平野部で雪の降る可能性を示す1つの目安です。

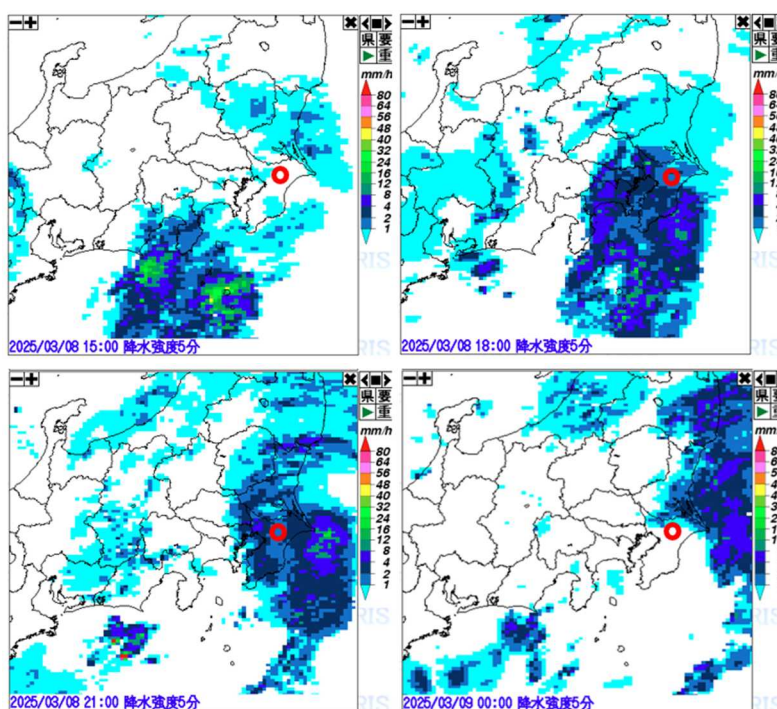


第5図 8日21時の高層天気図（左：500hPa、右：850hPa）

図中の水色線は等温線（左： -24°C 、右： -3°C ）、左図の茶色線は気圧の谷を示す。

4. 低気圧に対応する降水域の推移や天気（「雨」/「雨または雪」/「雪」）の時間経過

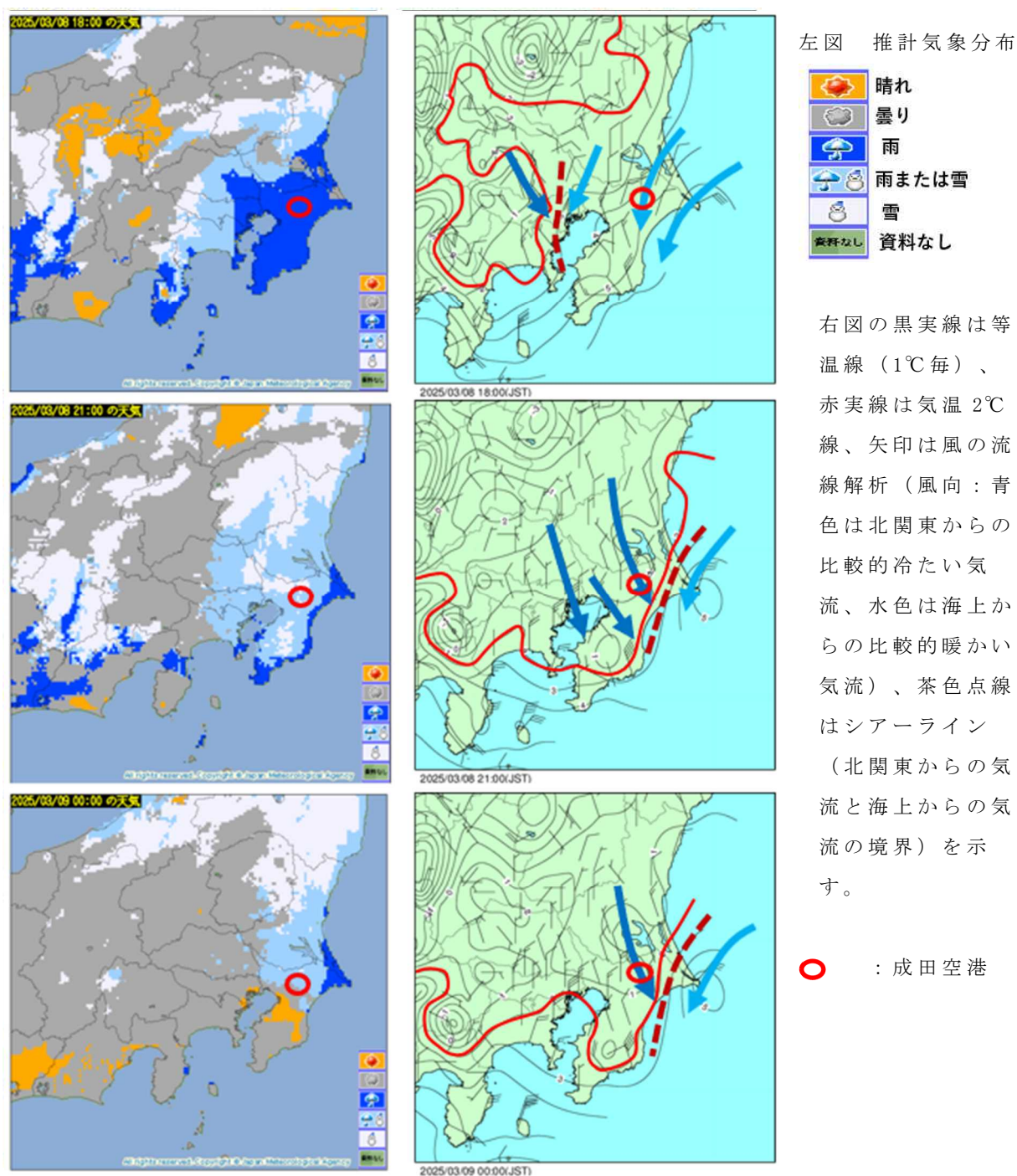
第6図に8日15時から9日00時までの低気圧に伴う降水域の推移を示します。8日15時に東海道沖から伊豆半島付近にあったまとまった降水域は18時には成田空港付近（赤丸）にかかり始めました。このまとまった降水域は東北東から北東進し9日00時頃にかけて関東の東海上に進んでいきました。



第6図 低気圧に伴う降水域の推移（8日15時から9日00時まで）
赤丸は成田空港

次に関東付近の天気（晴れ、曇り、雨、雨または雪、雪）の時間経過をアメダスの風向風速や気温分布と共に見ていきます。第7図は8日18時、21時、9日00時の推計気象分布（左図）とアメダス観測点の風向風速と気温（右図）です。

左図の推計気象分布は衛星画像やアメダスデータ等の各種観測データをもとに天気分布（晴れ、曇り、雨、雨または雪、雪）を算出しており、視覚的に把握できる情報です。こちらを利用することで、アメダスなどの観測所のない場所の状況も把握できます。気象衛星ひまわりによる雲の観測データから晴れかくもりかを判定し



第7図 推計気象分布（左図）とアメダス観測点の風向風速と気温（右図）

上から8日18時、8日21時、9日00時

ます。また、降水の有無は解析雨量を用いて判断します。「雨か雪」かの判別には気温も用います。「晴れ」/「曇り」の判別は、気象衛星による雲の観測データから判定（自動判別）されます。

8 日 18 時には成田空港のある千葉県北西部では全般に海上からの北東から北北東風が入る場にあり、「雨」で経過しています。一方、東京都の多摩地方や神奈川県では 2℃以下の冷たい北北西風が吹いており、「雨または雪」で経過しています。北北西風～北風と北北東風の境であるシアーラインは東京～神奈川県付近にあります。南関東においては概ねこのシアーラインの西側では「雨または雪」や「雪」、東側では「雨」の分布となっています。またシアーラインはおおよそ 2℃の等温線と対応が良いことがわかります。

21 時になると、気温 2℃線やシアーラインが時間の経過と共に東側へシフトし、推計気象分布の「雪」/「雨または雪」の領域が東側に拡大し、「雨」の領域が東側へ縮小しているのがわかります。これは北関東からの冷たい気流が時間経過と共に東から南東側に拡大し気温が低下、「雨」から「雨または雪」や「雪」に変わっていったということを示唆しています。成田空港でも 21 時頃には北関東からの冷たい気流（北北西風）が入ってきて、気温が低下し雨主体からみぞれや雪主体の降水形態に変わっていきました。このような状態は 9 日 00 時過ぎまで続きました。

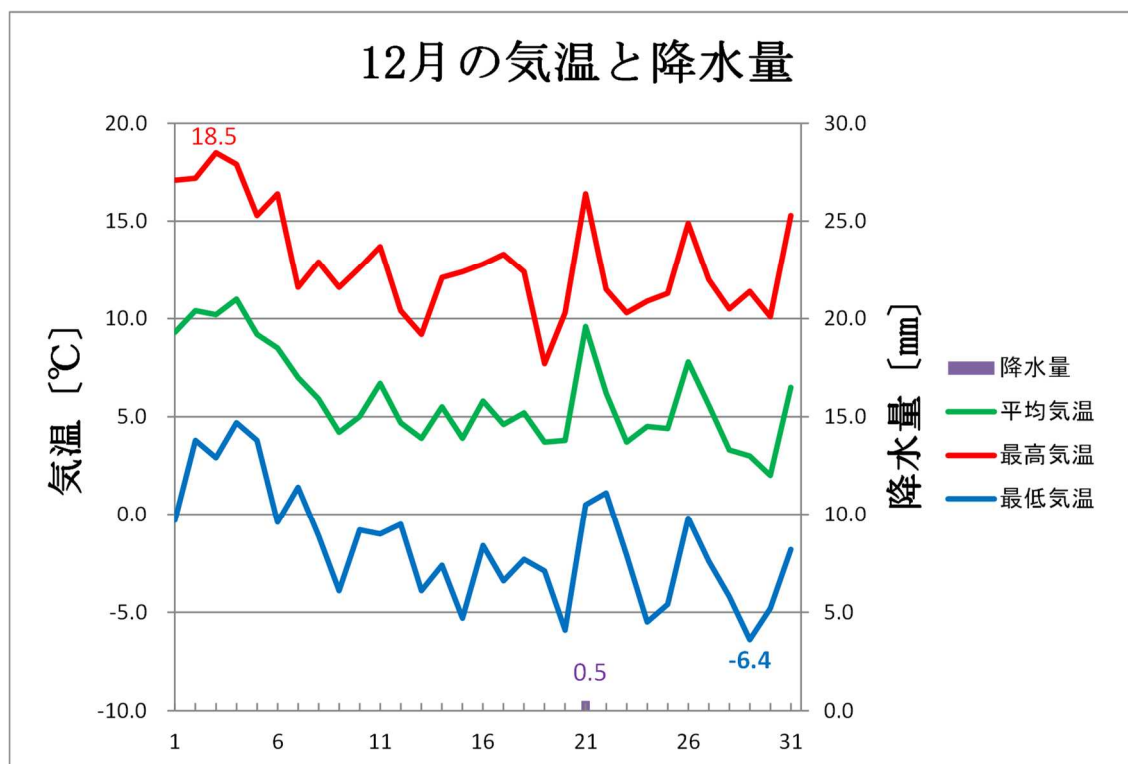
5. まとめ

3 月 8 日に低気圧が関東の南岸を東北東進し、9 日にかけて関東の東海上へ抜けていきました。このため、3 月 8 日から 9 日にかけて、関東地方の平野部で降雪となりました。成田空港では 8 日 20 時前から風向きが北北西風にかわり気温が低下したため、降雪となりました。最深積雪は 1 cm でした。

降水形態が雨になるか、みぞれや雪になるかの予想は地上気温や上空の気温、湿度等によっても変わるため、非常に予想が難しいものです。今後もさらに調査を積み重ねて、精度の良い予報を発表できるよう努力してまいります。

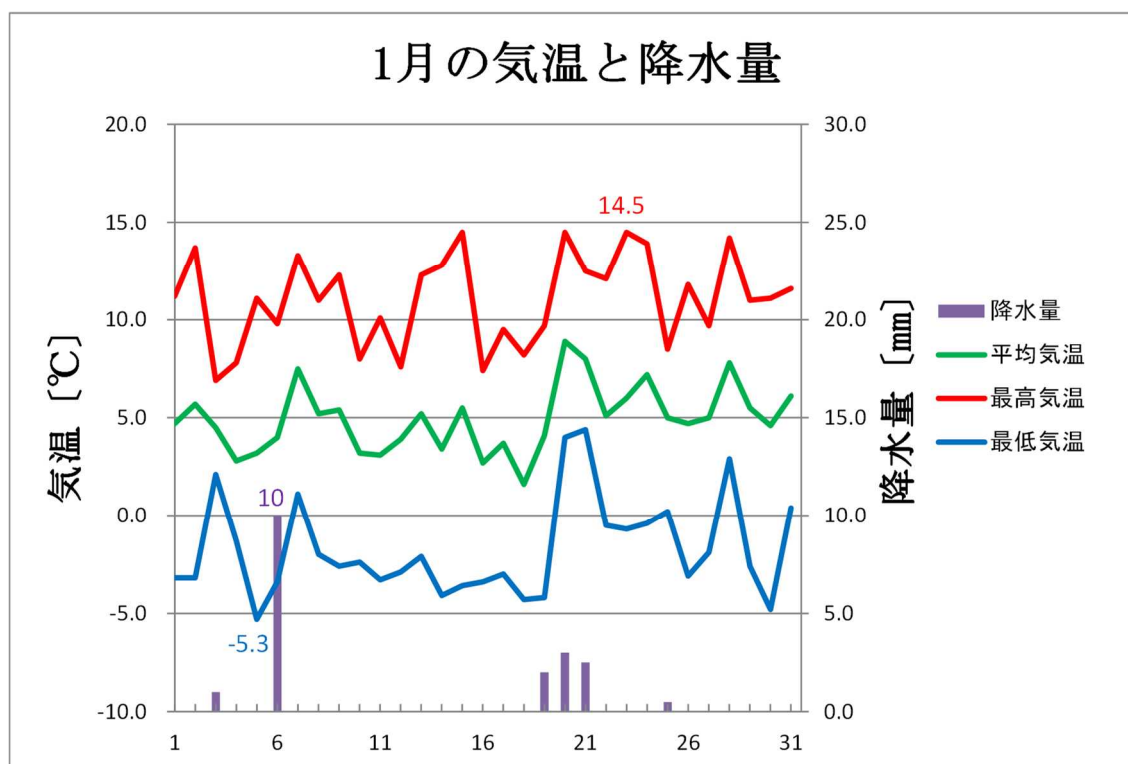


成田空港の気候2024~2025 冬



概 況

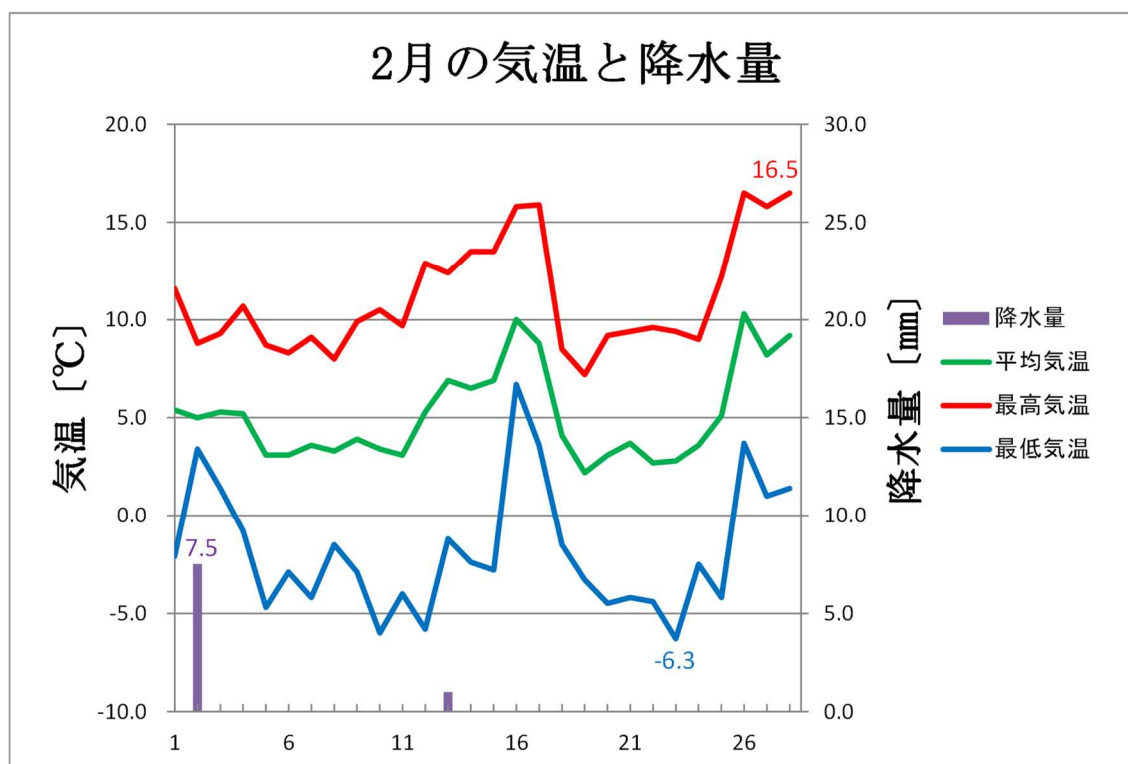
日本付近は西高東低の冬型の気圧配置が続きやすかったため、月降水量は、東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側で多くなり、上旬には大雨となった所もありました。中旬から下旬にかけて冬型の気圧配置が強まり、日本海側と太平洋側の山沿いを中心に降雪が続き、下旬には降雪が強まった時期もあったため、北日本日本海側で記録的な降雪や積雪となった所がありました。一方、低気圧の影響を受けにくかったため、月降水量は、北・東・西日本太平洋側と西日本日本海側でかなり少なくなりました。東日本太平洋側では平年比 7%で 1946 年の統計開始以降で 12 月として 1 位タイの少雨となり、成田空港でも、月降水量が 0.5mm で、統計開始以降の通年で 1 位タイの少雨となりました。また、月間日照時間は、北・東日本太平洋側でかなり多くなりました。平均気温は、東日本では平年並みとなり、成田空港では、6.0℃を観測しました。



概 況

冬型の気圧配置が長続きせず寒気の影響が弱くなりました。また、全国的に低気圧の影響を受けにくく、高気圧に覆われた日もありました。このため、月間日照時間は、全国的に多く、東・西日本太平洋側でかなり多くなりました。また、月降水量は、東・西日本太平洋側で少なくなりました。一方、上旬に冬型の気圧配置や低気圧の影響を受けた東日本日本海側で、月降水量は多くなりました。月平均気温は、北日本を中心に寒気の影響が弱く、南からの暖かい空気が流れ込んだ時期もあり、東日本で高くなりました。

成田空港では、月降水量は 19.0mm、月平均気温は 4.9℃を観測しました。



概 況

上旬後半と中旬終わりから下旬前半にかけて、強い冬型の気圧配置がそれぞれ 1 週間程度持続したため、東・西日本と沖縄・奄美を中心に強い寒気が流れ込み、北・東・西日本日本海側を中心に大雪となった所がありました。また、太平洋側の地方を中心に、冬型の気圧配置の影響に加え、冬型の気圧配置が緩んだ時期には高気圧に覆われやすく、低気圧の影響を受けにくかったため、晴れの日が多くなりました。このため、東日本太平洋側では、月降水量はかなり少なく、成田空港の月降水量は、8.5mm と少なくなりました。また、月間日照時間は、かなり多くなりました。月平均気温は、東日本では平年並みとなり、成田空港の月平均気温は 5.1℃を観測し、月平均湿度は 49%で通年の 1 位の値を更新しました。

注) 本統計に用いた成田空港気象データは、成田空港の航空気象観測値整理表の値(統計期間: 1972 年 7 月～2025 年 2 月)を使用しています。

発 行 成田航空地方気象台
〒282-0004
千葉県成田市古込字込前 133